

学年	教科等	単元名	日時
第3学年	総合的な学習の時間 (わかたけ)	わたしと「ささ」、わたしと「竹」 ～われらささの葉っ子～	令和3年11月1日(月)6校時
研究内容1の 手立て	「探究する」おもしろさを実感する単元構成の在り方 本単元は、子どもが竹や笹が学校のシンボルであることの理由に迫る構成とした。 ① 竹や笹の性質を知ろう ② 知ったことを伝えよう 本小単元はその①であり、子どもの思いや願いを基に他教科での学びが生かされるように学びをつなぐことで、「探究する」おもしろさを実感できるようにする。		
研究内容2の 手立て	「考えるための技法」を活用した学習活動の在り方 本小単元では、「探究内容についての話合い」「探究とふりかえり」という活動で「考えるための技法」を活用することで、竹や笹の性質を整理し、自分たちにできることを考え、活動できるようにする。 「探究内容についての話合い」では、調べたことを基に、「比較する」「分類する」という考え方を用いて整理させることで、グループ活動で必要な観点を見いだし、今後の活動につなぐことができるようする。 「探究とふりかえり」では、PDCAサイクルを積み上げていくことで、「見通す」「比較する」「理由付ける」といった力を発揮し、仲間と協働しながら竹や笹について探究することができるようする。		

本時、活用した考え方「見通す」「比較する」「関連付ける」～ステップチャートを使って～

【課題の確認】

これまでに調べた内容を、
どのような順番や方法で伝え
たら、動画を見た人に、より
伝わりやすいかな？



劇や読み聞かせをすると、みんな喜んでくれそう。

国語で学んだ「はじめ、な
か、終わり」の順番でまとめて
みようかな。

【チャートを活用した話合い】

① これまでに調べて分かったこ
とのなかから、伝えたい項目を
並べ替える。



② どんな発表の方法が、より相
手に伝わるかを考えて並べる。

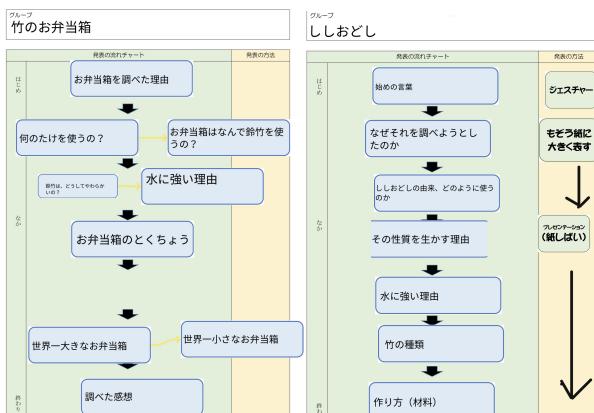


竹の性質から説
明した方が、うま
く伝わるね。

竹の柄杓が使いやすい理由は、人形劇で
説明するとうまく伝わりそう。キャラクター
を使って柄杓の持つところの工夫を分か
りやすく説明してみよう。



【グループで整理してまとめたもの】



【授業をふりかえっての考察】

これまでの学びをつなぐために、ICT機器を操作させたり、ステップチャートと初めて出合せたりするなかで、子どもから「そっか。そっか。」といったつぶやきが聞こえてきた。子どもが「やりたいな。」と思えるしかけや授業の雰囲気づくりができていた。

本時使用していたステップチャートは、国語科の学びを生かして、子どもがやってみたいと感じることのできる流れで進められた。

ICTとアナログのよさは、実際にやってみないと分からぬという面もあり、今後も検討の余地がある。本時は2つの班の発表があったが、本時のねらいとされていた「相手にどのような伝え方をすると、分かりやすく伝えられるのか。」ということについて、子どもは検討できていた。

「まとめ・表現」の段階で大事にしたいことは、「情報を再構成し、自分自身の考えや新たな考えを自覚すること」「相手意識や目的意識を明確にすること」「伝えるための具体的な方法を身につけ、内容を明らかにすること」「各教科等で身に付けた表現内容を積極的に活用すること」である。これらの4点を意識することで、子どもがもっと主体的に活動することができる。

御意見・御質問はこちら（研究部アドレス）

miyafukuen@cc.miyazaki-u.ac.jp

7 本時の目標

竹や笹について調べた内容を、相手に分かりやすく伝わるように、発表の構成を考えることができる。

8 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時学習問題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 学習問題 調べたことをどのように伝えると、より相手に伝わりやすいだろう。	<ul style="list-style-type: none">○ 竹や笹について、相手に分かりやすく伝えるはどうしたらよいかを問い合わせ、活動の目的を確認させることで、本時学習を想起できるようにする。
<p>2 本時学習について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none">○ これまでの学びのふりかえり<ul style="list-style-type: none">・ 竹や笹を使ったものづくりの発表内容○ 本時考えること<ul style="list-style-type: none">・ 発表の流れ・ 発表の方法・ 使用する考え方	<ul style="list-style-type: none">○ 竹の性質や特徴と竹製品についてまとめた表をふりかえらせ、どのような方法で伝えたら分かりやすく伝わるか問い合わせことで、発表の流れの大切さに気付けるようにする。○ 国語科での説明的文章の学びとステップチャートを提示し、「始め・中・終わり」の順番で伝えることのよさを想起させることで本時学習の見通しをもつことができるようする。○ ステップチャートを使って発表の流れを整理させることで、より相手に分かりやすく伝えるために伝えたい内容を明確にできるようする。
<p>3 発表の構成を考える。</p> <ul style="list-style-type: none">○ グループでの話し合い<ul style="list-style-type: none">・ ステップチャートを使用した話し合い	<ul style="list-style-type: none">○ 前時にまとめた表の項目を生かして、伝えたい内容についてタブレットを活用した話し合いを行わせることで、グループで協働して作業を進められるようする。○ ステップチャートを使っての話し合いが滞っている班には、発表の方法について例を示すことで、順を追って説明することのイメージをもって話し合いが行えるようする。○ 各グループのステップチャートを比較させ、伝わりやすさという観点から意見を出させることで、他のグループのよさやアドバイスを生かして、よりよい構成ができるようする。○ 劇化などの同じような発表の方法に偏った場合は、自分たちの発表を見直させ、いろいろな方法で発表ができるように調整を行う。○ 本時使用した考え方のよさについてふりかえらせ、その考えを共有させることで、情報を整理しながら考えをまとめることの大切さに気付き、今後の学習に生かすことができるようする。
<p>4 グループ同士でどのような流れで発表を行うのかを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none">○ グループ同士の伝え合い○ 発表構成の見直し	
<p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 本時学習の感想と使用した技法のよさ○ 次時の学習の見通し	

9 本時の評価規準

竹や笹について調べた内容を、相手に分かりやすく伝わるように、チャートを使って発表の構成を考えることができる。
(思考・判断・表現④) 【観察・記録分析・映像】